

## 平成27年度 地方独立行政法人山梨県立病院機構 業務実績評価（概要）

機構が評価委員会に提出した業務実績報告書に基づき、平成28年9月2日に評価委員会から知事に業務実績評価書が提出された。その概要は次のとおりである。

## ＜ 全体評価 ＞

- ・総評として、平成27年度の中期計画の実施状況は優れていると評価する。

## ＜ 項目別評価（40項目） ＞

評 価		評価項目数		
		H 2 7	H 2 6	増減
特に優れている	S	1 2	8	4
優れている	A	1 5	1 8	△ 3
順調である	B	1 3	1 5	△ 2
劣っている	C	0	0	0
著しく劣っており、大幅な改善が必要	D	0	0	0

## ○ 実施状況が特に優れていると評価された項目（評価S）及び評価理由

## ① (1) 救命救急医療

救命救急センターにおいて、三次救急はもとより、他の病院で受け入れできなかった救急患者の受け入れなど県民の安心につながるセーフティネットの役割を果たしていることは緊急避難的措置として評価する。

また、ドクターヘリ及びドクターカーにより、早期に高度な救命救急医療を提供している。

## ② (3) がん医療

がん治療に対する専門的かつ継続的なカウンセリングを実施するため、がん看護外来を設置するとともに、増加している外来のがん化学療法患者に対して、通院型の治療を目的とした通院加療がんセンターの機能が発揮されており、ゲノム解析センターにおいても先端的な取り組みが行われている。

また、内視鏡下手術など遅れている分野への取り組みを強化したことは高く評価する。

## ③ (7) 精神科救急・急性期医療

本県の精神科救急医療の24時間化への対応や、増加する入院患者に対し、集中した治療を実施するとともに、多職種チームによる総合的で一貫した医療を提供するなど取り組みの効果が表れていることは高く評価する。

## ④ (12) 医療従事者の育成、確保及び定着

総合研修プログラムにおいて、県内唯一のフルマッチとなった。また、県内の他の医

療機関の医師、医師以外の医療従事者も参加でき、最新情報を研修医と上級専門医が解説するカンファレンスを実施するなど交流を行い、質の高い医療を提供したことは評価する。

⑤ (14) 医療の標準化と最適な医療の提供

診療実績や医療の質向上の貢献度などを評価する係数であるDPC II群における機能評価係数IIのランキングが上昇したことは評価する。

⑥ (15) 高度医療機器の計画的な更新・整備 (A→S)

中央病院において、高度照射が可能な「リニアック」、低侵襲で精密な手術が可能な手術支援ロボットである「ダビンチシステム」などの高度な医療機器を整備した。

⑦ (20) 医薬品の安心、安全な提供 (A→S)

患者とのコミュニケーションを図りながら、処方薬の薬効や服薬方法について、わかりやすく説明し、患者が納得して服薬できるように、服薬指導を実施した。

専任の病棟薬剤師を配置したことは、薬剤事故防止や適正管理の上で高く評価する。

⑧ (23) 医療に関する調査及び研究

地方独立行政法人化後、積極的に治験及び臨床研究等に取り組んでおり、医療技術の向上に貢献している。特に平成27年度は、C型肝炎の患者に対して、新たに保険適用となった新薬（ソバルディ、ハーボニー）での治療を実施した。また、がん化した細胞に対して、特異的に細胞死を誘導することを目的に開発された分子標的薬であるオラパリブを「プラチナ感受性BRCA変異陽性再発卵巣癌」に対し、International easy access programを利用し、平成28年1月に日本で初めて投与を開始した。

このように、臨床病院であることを踏まえ、治験並びに治験に基づいた新薬投入など臨床につながる研究が充実したことは評価する。

⑨ (26) 地域医療機関との協力体制の強化 (A→S)

紹介状に対する返書作成の推進、地域連携センターを中心に地域の医療機関との連携強化を図った結果、平成27年度は、紹介率及び逆紹介率ともに地域医療支援病院の基準を満たすなど、地域医療支援病院の指定に向けた取り組みを通して、連携登録医療機関が増加するなど協力体制が充実したことは高く評価する。

⑩ (32) 経営基盤を安定化するための収入の確保、費用の節減 (A→S)

材料費が増加したものの、入院・外来ともに患者数が増加したことなどに伴い医業収益が増加した結果、経常利益、資金期末残高ともに増加したことは評価する。

⑪ (36) 予算、収支計画、資金計画、短期借入金の限度額

予算、収支計画及び資金計画については、年度計画及び前年度と比較して経常利益、資金期末残高ともに増加したことは評価する。

⑫ (37) 保健医療行政への協力 (A→S)

政策医療を確実に実施するとともに、県が主催する各種委員会へ職員を派遣したことは評価する。